

地域づくり協議会だより

編集発行：元総社市民サービスセンター（公民館内）

元総社地区地域づくり協議会 広報委員会

☎〇二七―二五―二二四三

2021(令和3)年
3月発行(第11号)

自分を守り、地域を守る

地域づくり協議会

会長 阿部明雄

本年度の地域づくり事業は、当初から新型コロナウイルス感染防止のために、総会の書面評決で始まり、歴史ウォーク、リーダー研修や三世代ディスコン大会など多くの事業が中止を余儀なくされてしまいました。

本年の地区防災訓練も、感染防止のために、公民館での縮小開催となりましたが、この訓練で学んだことは、行政防災対策を別として、私たちの防災の基本的な対処は、自助であり共助でありました。

自主防災は、自分の命は自分で守る（自助）、自分を守った上で自分の地域を自分たちで守る（共助）であります。

現在の第三波のコロナ感染の克服も、自主防災と同じであります。まず、コロナの感染から「自分を守る」、このことが家族や地域の人に感染をさせないことであり「地域を守る」ことに繋がります。



阿部明雄会長

私たち一人ひとりが、しっかりと感染防止対策を実行して、地域から県内、全国へのコロナ禍の収束に結び付けていきたいものです。

一日も早くマスクをはずして、元総社の地域づくり事業を、みんなの力で着実に推進していきたいと考えます。

◆地区防災訓練

実施日 十一月十四日(土)

災害はいつ起きるか分かりません。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、今年も、「いざ！に備え」、次により実施しました。

会場・訓練実施者(参加者)

元総社公民館ホールを会場に、本協議会の安全安心部会員、各地区の自治会長と女性防火クラブ員の五十二名で行いました。

訓練概要

目標を「指定避難所開設における感染症対策を理解し、へいざVに備える！」に、主な内容を①感染症拡大防止対策を講じた受付訓練、そ

して、感染症対策にも資する②映像を使った防災講話の聴講、③防災機材の設置方法の確認とし、焦点と参加者を絞った訓練にしました。



防災訓練(資材確認)の様子

💡地域づくり協議会ミニ情報

「地域づくり協議会」は、前橋市の地区ごとにあります。

私たちの「元総社地区地域づくり協議会」は、平成二十一年六月に発足しました。

一 会の目的は？

地域における支え合いや自主・自立性の強化を図りながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めることです。

二 事業の進め方は？

総会で、事業全体を協議した後、①歴史伝統部会、②安全安心部会、③福祉・交流部会の「3部会」に分かれ、具体的な事業計画を吟味し、実施しています。

三 事業推進している方は？

元総社地区の自治会や団体から推薦を受けた企画運営委員と自治会長を含めた七十四名が中心となり行っています。

小学校の「かるた九十九札」 を使った地区マップの作成

地区内の三つの小学校には、郷土・元総社の歴史・文化を詠んだ札が九十九あります。それらを合わせ見ると様々なことに気が付きます。

役員・参与を始め、歴史伝統部会で協議し、これらを使った「地区マップ」を作成し、小・中学校に配布しました。

今年度を振り返って

○歴史伝統部会

部長 松田 實

令和二年度の予定事業が新型コロナウイルス感染症の影響ですべて中止になり大変もどかしい一年になってしまいました。中止になりました事業の代わりに、元総社地区小学校三校（元小・元南小・元北小）それぞれにあります「かるた」をまとめた郷土マップを製作し各小学校、中学校及び自治会に配布したところ大変好評をえました。このマップは、どこに、どんな物があるのか、一目で分かります。散歩の際にでも参考にしながら歩いてみるのも良いかと思えます。今後も、様々な機会や活



公民館に寄贈した「地区マップ」拡大版
左（光安公民館長）・右（松田部会長）

動を通し、先人の方々が大切に残してきた神社仏閣や遺跡など、これらに対する思いなどを、後世に残していきたいと思えます。

○安全安心部会

部長 津田 正壽

当部会は、防災、防犯、防火、交通安全など生活の安寧に資することを目的とし、活動の対象範囲は多岐に亘っております。

今年度は、年度始めから新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け三密の回避やソーシャルディスタンスの確保などから多人数が一堂に会することが出来ず、活動中止や規模の縮小を余儀なくされました。このため、「リーダー研修」は中止となり、「防災訓練」と「青色パトロール活動支援」を実施いたしました。

特に「防災訓練」については日程

を変更して、更に規模を縮小して実施することになりましたが、コロナ禍に於ける避難所の運営はどのようなすべきか市防災危機管理課からの講義を中心に、避難所受け入れ時の体調チェックや避難所内部の区画方法など実演を交えて学ぶことが出来ました。実施内容の規模は縮小されましたが、ポイントを絞った訓練となり、地域防災力のレベルと意識の継続性が図れたものと思います。

○福祉・交流部会

部長 深町 哲

家族との絆や地域における支え合いの精神や交流が深められ、誰もが安全に安心して暮らせる地域づくりを目指し、「三世代交流ディスコ大会」の開催や「在宅高齢者ふれあい交流事業」の支援などに取り組んできましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の恐れもあったことから、「三世代交流ディスコ大会」は、残念ながら中止となりました。「在宅高齢者ふれあい交流事業」については、地域の実情に合わせ工夫しながら各地域で実施してきました。

部会では、生活支援体制整備の充実を図っていくべく検討を進めています。

総会・全体会議

◎今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「総会」は協議資料を事前送付し開催予定日までに意見等を求める形式で行い、事業総括と来年度に向けた提案などを行う「全体会議」は開催方法を見直し三月五日（金）に実施しました。

編集後記（広報委員会）

委員長 設楽 正治

武漢発の新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に伝播した。今もって終息の見通しが立たない。

一方アメリカの大統領選は、アメリカの民主主義の混乱を露呈した。多くのメディアの偏向報道が後押ししているのかもしれない。日本のメディアも他山の石としてほしい。今年も波乱の年になりそうだ。

地域づくり協議会も行事を中止したり、規模の縮小を図ったり、厳しい運営を強いられた。そんな状況にも拘わらず、皆さん一生懸命頑張っていただき有難うございました。

